



発行
愛知縣中川中學校
愛知県立松蔭高等学校
同窓会
名古屋市中村区烏森町
2-2
TEL 052-481-9471
印刷
マツモト印刷株式会社

八十周年記念事業延期のお知らせ



同窓会会長

星野 行正

昭和48年卒(25回生)

謹啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

先般ご案内いたしました、本年十一月七日に予定しておりました八十周年記念事業に關しまして、昨年中国で発生いたしました新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、延期する事といたしました。

ご参加いただく方に、少しでもお楽しみ頂けるよう昨年より準備を進めてまいりましたが、一年延期し令和三年十一月六日に実施予定とします。

心待ちにされていた方には、申し訳なく存じますが、何分、治療方法もまだ確立しておらず、特に、高齢者や基礎疾患のある方は重篤化しやすいとの報告もあり、苦渋の決断をとらせていただきました。

一方、この直近十年の生徒たちの活動活躍を記載した八十周年記念誌の編纂は進めております。

また、記念誌には、卒業生の皆様が関与する企業広告の掲載が可能です。寄付金も含め、多くの皆様の広告のご寄稿をお待ちしております。

掲載料等は、この会報紙の中間記載されておりますので、ご予算に合わせご広告原稿をお願いいたします。

今回のコロナウイルス感染は多方面に影響を与え、経済活動の縮小のみならず、母校の運営にも影響があります。四月の入学式以降は休校状態になっており、指導される先生方にとっても、初めての経験で大変苦労されているときいています。

ここから、同窓会と学校との連携について、お伝えします。

同窓会より、新入生へは、入学時の校章、卒業生には、卒業証書ホルダーを贈呈しています。

また、毎年度毎に活躍の目覚ましだった部活動には、奨励賞として、二つの部活動に金一封を贈呈しています。

今回の八十周年記念事業のような十年毎に、学校内の設備等で、特段の予算措置が取り辛い設備・什器の設置など、大きな予算が必要となるものに対して費用負担をしてまいりました。

先回七十周年時には、破汚損が著しかった体育館の舞台上と窓にかかる遮光カーテンを贈呈いたしました。

今回、学校からの要望は、体育館等でも使用可能なプロジェクトや、ネット授業が可能となるホームページの変更費用などです。

ここで一つ大きな懸念材料があります。それは、財政基盤が弱いということです。

収入増を図るために、皆様からの会費を五百円上げ三千元に、卒業生からのまつかげ会入会費二千円上げ五千元に増額しました。

今回の八十周年事業を進めるにあたり、実行委員会か

らは、ご来場頂けるかたに思う存分楽しんで貰うという企画を多々出してくれましたが、如何せん、資力が少なく、泣く泣く企画を削ることになりました。この会報紙の中ページに、会費をお支払いいただいた会員の御芳名が記載されています。

約千名のうち、現在六十歳を超える方が八十五%を占めます。

過去、八十年にわたり、3万2千余名の卒業生を排出した愛知県立松蔭高等学校。

その一員として、一番多感な時代を、徹夜をしてまで準備した体育祭、炎天下、ここまで汗をだすことが出来るのかと、夢中になった部活動。

年代は違えども、同年齢時にあの場所、同じように笑い、喜び、涙した者が集う同窓会への積極的な参加をお願いします。

入学した時の一年二年先輩、卒業する時の一年二年後輩という五歳間の思い出を、縷々と流れる八十年という世代と共感を紡ぐ絆へと、是非、同窓会にご参加下さい。

同窓会の改革も進めていく必要があります。その為には、広く多くの会員の皆様からのご意見も頂戴したいと考えます。

どんな内容でも構いませんが、できれば具体的に、例えば、「紙面を変える」ではなく、「○○の内容を取り上げて欲しい」など、具体的な提案をお願いします。

最後に、収束の見え辛いコロナウイルス感染の中、八十周年事業を来年、令和三年十一月六日に延期することをとお伝えすると同時にまつかげ会への積極的なご参加をお願いします。

それも、二十年后に迎える百周年事業を、多くの方々にご参加頂き、名古屋の学習院と呼ばれた松蔭高等学校と、まつかげ会が熱く輝ける時代を迎えることが出来たらと思えます。

会員の皆様のますますのご健勝を祈念し、挨拶とかえさせていただきます。

有難うございました。



校長

戸倉 隆

松蔭高校は一九四〇年に誕生し、今年度は創立八〇周年を迎えることができました。まつかけ会会員の皆様方には母校松蔭高校の教育へのご支援、ご協力、そして何より心からの応援をいただいていますこと、深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十一月七日（土）に予定されていた記念式典は来年度へ延期となりましたが、節目の年として学校の来し方を確認し、これからの松蔭高校を考える年にしたいと思っています。

現在、新型コロナウイルス感染症のため世界中が甚大な被害を受けています。社会生活全般が制約を受けている中、学校も三月二日から始まった臨時休業に大変な影響を受けています。部活動は臨時休業開始以来自粛が続いています。学校行事も健康診断も実施できません。三月の長期に渡る休業はもちろん前例がなく、生徒のために何をしなければならないか、何ができるか、を考える日々です。中でも生徒達の学習の保障は急務であります。オンライン学習支援、感染拡大防止のため昼食を挟まないように午前・午後に分けた分散登校と少人数授業。公共交通機関利用時の混雑を避ける時差登校。これまでに経験したことのない様々な対策を立てなければなりません。

こういった状況で、学校から情報を伝えることができる場としてHPの重要性は非常に高くなっています。この度八〇周年記念事業の一環としてまつかけ会から新しいHPを寄贈していただきました。発信できることが大幅に増えた頼りになるHPとなりました。ありがとうございます。

さて、八〇周年の節目にあたり、生徒達に伝えていること、伝えたいと思っていることを紹介します。

一つ目は教育目標、

『確かな学力を備え、明朗闊達で、多様な人々と協働して学ぶことができる健全で品位ある人間の育成』です。令和二年度入学式式辞で入学生に話しました。

明朗闊達は「明るく朗らかで心の広さ、度量の大きい些事（さじ）にこだわらないさま」という意味です。から、本校の教育目標は『変化の激しいこれからの時代を生き抜く確かな学力を身につけ、明るく朗らかで大らかな心を持ち、多様な人と協調できる品位ある人間を育てる』ことを目指しています。非常に魅力的な松蔭高校生に相応しい人間像と思っています。

二つ目は校訓、

『磨く、拓く、翔く（みがく、ひらく、はばたく）』です。「磨く」は一人一人が向上心をもって努力する大切さ。「切磋琢磨」という言葉があるように、お互いが刺激し合って共に成長してゆくことの大切さが込められていると思います。「拓く」は新しい道を切り拓く。つまり挑戦する気概を持ち、行く手を阻む障害を切り拓いて前に進む逞しさを持つことではないでしょうか。「翔く」は、新しい広い世界への飛躍、若者が海外へ飛び立ち活躍するイメージが浮かびます。

令和元年度卒業式式辞は卒業生の飛躍を願い校訓で結びました。

三つ目は校歌です。本校校歌は丸山薫氏作詞、山田昌弘氏作曲のもので、丸山薫氏は豊橋で旧制の小中学校時代を過ごされた詩人です。一番から三番の中に次の歌詞が登場します。

『朝雲の希望に映えて、吹き来（きた）れ自由の風、競えいま自主の精華』

本校の校風をよく表しています。

今は大変困難なときですが、松蔭高校はこれからも希望に燃え自由の風のもと自主の精華を競い、明朗闊達たらんと活力溢れる人が集い「磨く・拓く・翔く」学びの場であり続けたいと願っています。





教頭

橋元 直子

今年も、はや半年が過ぎようとしておりますが、まっかげ会会員の皆様におかれましては、変わらずお元気で御活躍のことと存じます。日頃から本校の教育活動につきまして、御理解・御協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年度は入学式直後から臨時休業という波乱の幕開けとなり、学校再開準備期間を経て6月から学校が再開されました。学力の保障のための取組はもちろんのこと、感染防止に留意するとともに、生徒一人一人に寄り添った心のケア等、ただちにやらなければならぬことが山積する中、生徒のために何ができるのか手探りで進めています。

現在は、こうした厳しい状況ではありますが、「禍福は糾える縄のごとし」といいますので、事態が好転する日を期待して待ちたいと思います。

一 社会人の私の身にも、この故事成語のようなことがありました。ここで、高校時代からの私の歩みを少少だけ振り返ってみたいと思います。

今から何十年も前のこと、私は長期的展望のないまま漫然と高校生活を送っていました。大学で学びたいことはありましたが、就職は遠い先のこととして具体的には全く考えていませんでした。三年生になって、そろそろ志望校を真剣に考えようかと思った矢先、父が心筋梗塞

で倒れました。一命は取りとめましたが、それ以後の私は経済的な不安を常に抱えるようになり、学費の安い大学への進学一択になりました。

生来のベシミストなので、父亡き後、一人で母を養うことを考え、就職の条件は、定年まで続けられることが第一でした。

就職に就き、初めて赴任したのは、三河にある中堅進学校でした。それまで身近で聞くことがあまりなかった三河弁の衝撃は、今でも忘れられません。書類の在処を尋ねた私に、返事は「さばくつてみりん。」私の頭の中は「鯖食つて味噌?」でした。通訳(?)の先生から「物をどかして探してみなさい。」という意味だと教えられました。通勤に片道1時間40分かかり、早朝補習があったため、冬ともなればまだ暗いうちに家を出ていました。通勤疲れで心折れそうでしたが、最寄りの駅から2km歩くことで、健脚になりました。

次に転任した先は、尾張にある、生徒がとても元気な学校でした。最初の学校と雰囲気はまったく異なり、転勤二日目にして退職の二文字が頭をよぎりましたが、支えてくださった先生(まつかけ会会員の方です)のおかげで、持ち直しました。いつの間にか環境に順応し、生徒以上に元気になりました。

三校目は名古屋市内の伝統ある高校でした。家から比較的近く、通勤のストレスがなくなりました。ただ、生活圏と職場が近接していたため、休日にはスーパーで買い物している姿を生徒に見られ、恥ずかしかつたものです。七年いた最後の年に図書館の床の改修があり、大量の本を運んだために膝を壊しましたが、大好きな図書館の仕事をすることができて幸せでした。

四校目が松蔭高校です。二校目でお世話になった先生と思いがけず再会できて、大変心強く、うれしく思いました。着任一年目の夏休みに、ぎっくり腰になり、二日

後の全校出校日にお辞儀ができなくて困りました。激しい痛みを苦しみましたが、周囲の方々に優しくしてもらい、整体を紹介してもらったおかげで、快方に向かいました。

いずれの学校でも、いいこと、悪いことはそれぞれありました。いいことばかり続くわけではありませんし、悪いことばかりも続きません。止まない雨もなければ、明けない夜もない、そう信じています。

“there is nothing either good or bad, but thinking makes it so.”

と言ったのはハムレットですが、感じ方は人それぞれです。そして、幸福であるか、不幸であるかを決めるのは、自分自身だと思っています。傍から見ると幸せそうに見えるても、実は本人は不幸の真ただ中にいると感じているかもしれません。その逆もまた然りです。

かくいう私は、臆面もなく言わせていただくなら、松蔭高校の教員の一人であることを幸せに思っています。それと同時に、松蔭高校で出会った生徒たちには幸せになつてほしい、と思っています。少なくとも、松蔭高校に三年間通つて良かったと実感して、卒業してほしいと思っています。そのために今できることは何か、と日々自分に問うています。

もとより非力な身ではありますが、生徒たちとともに、自分も含めて幸せになれるよう努めてまいりますので、今後とも御支援のほど、よろしくお願いいたします。

学校の近況と当面の予定



教頭

大橋 一幸

(松蔭36回生)

令和元年度の終わりには、武道場の改修工事も予定通り終わり、お色直しをしたかのようにきれいな状態である。「男子がここへ上がると退学になる」と、都市伝説のようにまことしやかにささやかれていた武道場3階の女子部室も、扉が取り替えられ、室内も新たに塗装され、いくつかの部室はトタン屋根の男子部室の並びに移動することとなった。

授業形態として昨年度から始まった65分授業は、生徒にとってもおおむね良好である。その影響もあり、この3月に卒業した学年の進路実績はここ3年で国立立大学合格者数もかなり大きく伸ばすことができた。

一方で、新型コロナウイルスに大きく翻弄されて当初の予定とは大きく変わったのは、今年度の学校行事である。

まず、本校にとって今年度の最大イベントであった80周年記念事業は来年に延期となった。そして、規模の大きい事業としては、本館の改修工事が7月から来年の2月までで実施の予定である。もし実施されれば、職員室は一時的に会議室などに分散移動することになり、現在の職員室から机やロッカーなどすべての物品を大移動しなければならず、莫大な労力を必要とする。改修工事実現の可否は6月末の入札次第ということで、この会報が発行される頃には明らかになると思われる。

生徒にとっての大きな変化は、コロナの影響で1学期の中間考査がなくなったことと、何よりも、伝統の体育祭が現時点（5月末）で実施が危ぶまれていることである。校内で最大のイベントができないのは、多くの生徒にとってダメージが大きい。そのため、生徒会部が中心となって、形を変えてでも何かできることはないかと、体育祭実行委員長や生徒会執行部、各群団長と意見交換を行っている。

新聞などでの報道にもあったように、夏休みは短縮され、1学期終業式と2学期始業式は8月に実施することになった。毎年3千人以上の来校がある文化祭は一般公開の実施が可能かどうかを検討中である。例年千人を越す中学生の来場者は、文化祭の様子に圧倒されて、本校への入学希望が高まる。今年、文化祭の見学が叶わなくなってしまうと、来年の高校入試に影響が出るのではないかと心配している。

「部活動のさかんな進学校」をキャッチフレーズとしている本校も、他校と同様3〜5月は部活動ができなかった。5年連続での全国総合文化祭出場を決めていた和太鼓部も高知県での演奏が断たれてしまい、生徒たちは残念に思っている。他の部活動でも特に3年生は活動することなく引退する者もあり、大変気の毒である。これから徐々に部活動の場が広がり、今後、グラウンドや体育館、武道場、校舎内に部員たちのにぎやかな声が響き渡る状況が一日も早く戻ってくることを切実に願っている。

なお、延期となった80周年記念事業は来年の11月6日（土）に仕切り直しとなるが、その時には、ソーシャルディスタンスを気にせずに大きな声で校歌を歌いたいと思う。

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染について

岐阜医療科学大学 学長 山岡 一清

人類は、多くの研究者が感染症対策に膨大な資金と尽力を費やしてきましたが、克服できた感染症は、たった一つの感染症「天然痘」だけと言う現実から、今後、共存しながら今回の感染症と戦うしかないのでしょうか。

世界各国の感染者数に比較して日本の感染者数や死者数が極端に少ないのは何故か？大いなる疑問が生じるどころです。いろんな意見が言われていますが、日本には、マスクをする文化が存在していたこと、ハグやキスなどの接触する文化がないことなどを挙げている人が多いように思います。

また、日本のPCR検査数がかんり少ないことを挙げている専門家もいます。そこで、検査について少し整理をします。

抗原・抗体、PCR検査など耳慣れない言葉が飛び交っています。抗原は、病原性のウイルスや細菌などが生体に免疫応答を引き起こす物質で、抗体は、体内に入った抗原を体外へ排除するために作られる免疫グロブリンというタンパク質の総称です。すなわち、ヒトの体の中に抗原が存在すれば、何か悪さをしようとしている事、抗体が体内に存在すれば、悪さをしようとしている微生物などに抵抗・排除しようとするものであります。抗原検査には、皆さんが毎年冬になると開業医などで鼻に綿棒を入れて30分ぐらいで結果が出るものと同じタイプのものです。また、PCR検査は、ウイルス遺伝子の特徴的な一部分を反応で増幅させる検査です。つまり、もしそこに新型コロナウイルスがいれば、その中のある特徴的一部分を見つけ、その部分を切り取り増幅させることで、新型コロナウイルスがいるかどうか判定できる、という検査です。検査に要する時間は、今までは、6時間ぐらい要しましたが、今後の、新しい検査法では、どんどん短時間にて検出で

きる方法も始めています。測定する機器は、リアルタイムPCRやLAMP法など種々あります。非常に高価な機器となります。本学にも、リアルタイムPCRの機器が関キャンパスと可児キャンパスに3台あり、その中で可児キャンパスにてPCR検査を実施すべく準備を進めています。

人から人へと感染させるには、何らかの手段が必要となります。それが、感染経路です。感染経路には、直接感染を起す、飛沫感染（くしゃみ、咳など）、接触感染（握手、性行為など）、間接的に感染を起す空気感染（飛沫核感染など）や媒介物感染（咬傷感染、蚊、食品など）があります。

今回は、飛沫感染や接触感染が主でまれにエアロゾル感染も指摘されています。感染経路が明確に確認されているので比較的容易に感染対策できるものと思われていますが、なかなか難しいものでした。くしゃみや咳で人の口から飛沫が2〜3m飛びます。ひとつひとつの飛沫の中微生物が存在しております。乾燥して水分が蒸発すると、微生物が不活化されて活動しないものが多くありますが、今回のCOVID-19は、ステンレスや鉄製のものの上では、3日間ぐらゐ生存しているともいわれています。

飛沫感染予防には、マスクの着用が有効です。欧米には、マスクをするという文化が根付いておりません。マスクをしている人は、感染症持ちの人というイメージが強いのです。発症の2日前と発症直後が非常にウイルスの排出量が多いと言われています。感染はしているが、症状のない人が他の人に感染を引き起こす可能性があります。それを防ぐためにマスクをしてください。また、接触感染予防には、ハグなどの接触を極力避けること、ソーシャルディスタンスをとることが重要である。手指が触れた場所の消毒を行うことも重要であります。消毒液については、70〜80%エタノールが推奨されています。次亜塩素酸水についても使用される方は、多いかと思いますが、保存容器などによっては、効力が低下することもありますので注意が必要です。次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は、手指消毒には使用できません。

よく言われている3つの密「密閉した空間」「密集した場所」「密接した場所」を避けることが重要です。他人との距離をとる、おおよそ2m以上（いわゆるソーシャルディスタンス）取りましょう。ウイルス感染は、人の粘膜から体内へ侵入します。顔には目・鼻・口に粘膜があり、人が無意識のうちに手が触れます。触る前に手からウイルスを洗い流しておくことが、感染予防に1番大切です。石鹸で30秒間は手を洗い、乾燥後に消毒をすれば完璧です。

感染してから約4日（最大14日）後に風邪のような症状がでます。微熱を含む発熱、咳、ノドの痛みなどです。その他にも頭痛、だるさ、関節痛・筋肉痛などの症状がみられることがあります。このように、新型コロナウイルス感染症は風邪やインフルエンザによく似ています。冬季になるとインフルエンザも流行するでしょう、この場合医療機関に受診して素早い診断をしましょう。

もう一つの特徴として、嗅覚障害・味覚障害を訴える患者さんが多いことも分かっています。以上の様に、体調に違和感を覚えたら速やかに医療機関を受診して正しい診断をしましょう。そうすれば、家族内感染や職場での感染を最小限にとどめることが出来ると思います。まだまだ、ワクチンや治療薬の開発には時間を必要です。この感染症との戦いは、始まったばかりです。これからが正念場と考えてください。危惧に終われば幸いです。

略歴

山岡一清

岐阜市生まれ

大阪薬科大学薬学部卒、博士（医学）岐阜大学

主な職歴…岐阜県立岐阜病院

岐阜県保健環境研究所（感染症研究）

岐阜医療科学大学 教授

岐阜医療科学大学 副学長

岐阜医療科学大学 学長 現在に至る

山田氏（神野学園理事長）の紹介

昭和48年卒（25回生）の山田弘幸です。現在、私は学校法人神野学園の理事長を務めています。神野学園は岐阜医療科学大学、中日本自動車短期大学、中日本航空専門学校の3校を設置しています。今回、感染症の専門家でもある岐阜医療科学大学 山岡学長に「新型コロナウイルス」について寄稿頂きましたのでご一読願えれば幸甚です。

岐阜医療科学大学は大学院「保健医療学研究科」・保健科学部「臨床検査学科」、「放射線技術学科」・看護学部「看護学科」・薬学部「薬学科」・助産学専攻科を設置しています。特に薬学部はこの4月に可児市のキャンパスに開設したところです。4学科体制で学際性を重視し将来のチーム医療体制のリーダーとして活躍できる人材育成に努めています。

学校法人神野学園
岐阜医療科学大学の紹介

大学院「保健医療学研究科」・保健科学部「臨床検査学科」、「放射線技術学科」・看護学部「看護学科」・薬学部「薬学科」・助産学専攻科を設置。4学科体制で学際性を重視し将来のチーム医療体制のリーダーとして活躍できる人材の育成に努めている。

系列校に中日本自動車短期大学、中日本航空専門学校を併設。

理事長は昭和48年卒（25回生）山田弘幸氏

創立80周年記念大会延期の報告

実行委員長 大木 崇

(松蔭33回生)

皆様如何お過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの影響で、4月より政府から発令された非常事態宣言により、今までの生活スタイルが大きく変わりました。又その間において多くの自粛要請により厳しい現実に直面している事と思います。まずもって皆様にお見舞い申し上げます。

さて本年2020年11月7日に開催を予定しておりました、創立80周年記念大会ですが、こうした環境下の中、皆様の健康面についても考慮し、学校とも幾度も検討を重ねた結果、苦渋の決断として、東京オリンピックに倣い、4月23日正式に1年延期を決定致しました事、報告致します。

開催は名称変更なく創立80周年記念大会とし、2021年11月6日(土) 名古屋市公会堂にて開催となります。

楽しみにされていた方も多くお見えになると思います。が、何卒ご理解の上ご賛同頂き、新型コロナウイルスの脅威を乗り越え、来年東京オリンピックを楽しまれて、本大会を皆様と共に迎えたいと思います。

皆様が無事、来年大会に参加される事を祈念し報告とさせていただきます。

尚、協賛金並びにご協力金の受付につきましては引き続き継続させていただきますので、何卒宜しくお願い致します。

賛助広告掲載のお願い

愛知県立松蔭高等学校まつかけ会
創立80周年記念事業 賛助広告を募集します。

拝啓、新緑の候 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

松蔭高等学校は、1940年(昭和15年)に開校され、2020年(令和2年)に創立80周年を迎えることとなりました。卒業生で運営しているまつかけ会会員、地域の皆様方をはじめ、多くの関係者のご尽力により、今日まで発展することができました事に対し、心より感謝申し上げます。

この度、創立80周年にあたり、[※]記念大会及び記念誌の発刊を予定しております。

つきましては、まつかけ会及び日頃お世話になっております各企業様及び卒業生の皆様のご協力を賜りたいと考えております。

この旨をご理解いただき、多くの皆様方より温かいご支援を心よりお願い申し上げます、創立80周年事業が予定通り実施できますよう、格別のご芳情をお寄せいただきたく、ここに謹んでお願い申し上げます。

敬具

※記念大会は令和3年11月6日に延期させていただきます。

愛知県立松蔭高等学校まつかけ会
80周年記念事業 実行委員長 大木 崇

賛助広告掲載のスペース

- ①. プラチナ A4 1ページ
カラー 200,000円
- ②. ゴールド A4 1ページ
モノクロ 100,000円
(縦260mm×横180mm)

⑤. 一般 名刺サイズ
(縦52mm×横90mm)
モノクロ 20,000円

⑥. 賛助 氏名のみ 10,000円

- ③. シルバー A4 1/2ページ
(縦130mm×横180mm)
モノクロ 60,000円

A4 全面 ①②

A4 1/2 ③

パターンがあります。
①
②
③
④
⑤
⑥
の6通りの

- ④. ブロンズ A4 1/4ページ
(縦65mm×横180mm)
モノクロ 30,000円

A4 1/4 ④

ご不明な点がございましたら、下記事務局までご連絡下さい。
担当者：80周年記念事業 副実行委員長 林 克仁
連絡先：katsuhito55@gmail.com

広告料のお支払いについて
下記の金融機関までお支払い下さい。なお、振込手数料はご負担願います。
振込先 大垣共立銀行 名古屋支店 口座番号 1005450
振込先名 まつかけ会創立80周年記念大会実行委員会

皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

部活動奨励賞

サッカー部

この度、同窓会の皆様より部活動奨励賞を頂いたこと厚く感謝申し上げます。

昨年の活動では、リーグ昇格、市内県立優勝などチームとして結果を残すとともに、一人一人が大きな成長を遂げることができました。これは部全員が各々チームのために何ができるかを考え、行動してきた結果だと思っています。そして、それが認められ、今回の奨励賞を頂いたと思うと大変嬉しく思います。

頂いた奨励金はテント購入費等に使用させて頂こうと思っています。テントは厳しい夏の日差しから選手たちの体を守るもので、新しく購入させていただくことにより、選手たちはより長くより濃く練習に打ち込めるようになると思いますので、大切に使用させていただきます。

昨シーズン、全国大会出場を目標に総体や選手権に挑みました。それぞれの高校が死力を尽くして戦い、ただ勝利だけが想いと努力の証。選手たちは体をぶつけ合い倒れながらもボールを求め、応援してくれる人たちも必死に声を張り上げ選手たちを鼓舞する。その場では魂のぶつかり合う熱いようなものを感じることができました。しかし、惜しくも悔しい結果となってしまい、ピッチに立ちながらチームを勝たせることができなかったものの、ピッチで闘うことができなかつたもの、それぞれがいろいろな思いを抱いたと思います。ですが、このことは自分たちの弱さと向き合い、甘さに打ち勝つ決意を僕たちに与えてくれたと思っています。

これからの大会に向け、新たな指針を掲げ、部員たちは日々競い合い、支え合って練習に取り組んでいます。今こうして僕たちがサッカーに取り組んでいるのは、支えてくださった保護者の皆様、先生方、卒業生方、そして地域の皆様のおかげです。その感謝を伝えるためにも、謙虚に、ひたむきに頑張っていきたいと思います。

今回、奨励賞を頂き誠にありがとうございました。これからも松蔭高校の誇りを胸に精進していきますので応援よろしくお願いたします。

部活動奨励賞

和太鼓部

この度は部活動奨励賞に和太鼓部を選定いただき本当にありがとうございます。まつかげ会の皆様のご協力があつて和太鼓部は多くの演奏機会をいただき、幅広い活動ができています。この受賞に対して私たちにできる精一杯の恩返しは、「観てくださる方の心に響く演奏をする」ことだと思っています。

昨年の秋に行われた愛知県高等学校総合文化祭では優秀賞をいただき、今年の夏に高知県で行われる、全国高等学校総合文化祭に出場させていただくことになりました。このような大会ではもちろん、日々の演奏の中でも、私たちの演奏を見てくださる一人でも多くのお客様に元気を与えられるよう、これからも日々の練習を頑張っていきたいと思っています。

新型コロナウイルスによって暗いニュースが飛び交う今だからこそ、私たちは神楽太鼓組曲「祈り」という曲を皆様にお届けしたいと思っています。この曲には、抗うことができない状況から明るい未来を描いて懸命に生きるというテーマがあります。この受賞を糧に、さらに観てくださる方の心に響く「祈り」を演奏していきます。そのために部活ができること、そして協力いただけるこの環境に感謝をして、仲間とともに精一杯部活動に励んでいきます。

今後とも和太鼓部へのご協力をよろしくお願いたします。

今年度松蔭生の進路実績

今春の松蔭高校の大学入試結果をご報告致します。国立大合格者は、88名(現役75名、浪人13名)でした。名大、名工大、愛教大、愛東大、名市大、岐阜大、三重大など地元の大学のみならず東北大、山形大、信州大、富山大、福井大、神戸大、広島大など東海地区以外の全国29の国立大に合格者を出すことができました。私立大は、関東関西の難関大、南山大、愛知大、名城大、愛知淑徳大、金城学院大、椋山女学園大など地元の有名私立に多数の合格者を出すことができました。詳しくは、本校のホームページで御確認ください。

私立大の定員厳正化の影響で受験生に安全志向がはたらいた結果、難関校は志願者減、中・下位校に志願者が集中するという現象が起きました。その結果、レベルを下げるほど競争率が高く、積極的に上位校を受験した受験生は合格率が高かったということが今春の入試の特徴でした。また、安全志向がはたらいた結果、成績上位者が私立大の推薦入試やAO入試で早い時期に進学先を決定する動きが見られ、国立大離れが進み、多くの国立大で志願者が減少し、競争率1倍位の学科も多くなりました。最後まで国立大志望を貫いた受験生には、合格への好材料がそろったわけです。1年生の時から学習習慣が身につけており、まじめに努力をした受験生は自信を持って受験に臨み、好結果であった反面、3年生になって日頃の勉強不足を自認し、焦って受験科目を絞り、付け焼き刃で受験をした受験生には厳しい結果であったという、当たり前のことが顕著に表れた入試でした。

来年度から始まる新大学入試では、大学入試共通テストをはじめ多くの大学で、思考力・判断力・表現力を問う問題が出題されます。日頃の授業に受け身ではなく主体的に参加し、家庭学習の中でじっくりと考える習慣を身につけることが、今後ますます大切になってきます。

まつかけ会ゴルフコンペ第35回

第35回秋期まつかけ会のゴルフコンペは、今迄の京ヶ野ゴルフコースから名古屋ヒルズゴルフローズコースへと変更され私としては初めてのコースと思っていましたが、昔のコース名がシンコーゴルフコースであり、約15年前2~3回コースを経験していたため多少コースを覚えていたのでそれが好結果につながったと思います。まつかけ会ゴルフコンペも35回を迎える事が出来ました。今年は我が母校松蔭高校（中川中学）も80周年を迎えます。まつかけ会ゴルフコンペも増々ご発展されます様心からお願い申し上げます。

松蔭高等学校第11回卒業生 廣田 春生



順位	競技者名	GROSS	HCAP	NET
優勝	廣田 春生	85	14.4	70.6
準優勝	一村 勝彦	85	14.4	70.6
3位	岡田 義郎	93	21.6	71.4
4位	久田 正博	89	16.8	72.2
5位	青木 八束	90	16.8	73.2
6位	竹野 かつ江	90	16.8	73.2
7位	林 直樹	97	22.8	74.2
8位	岩間 次郎	94	19.2	74.8
9位	稲垣 貞男	87	12.0	75.0
10位	山田 章二	100	24.0	76.0



教職員異動報告

●令和2年度

【退職者】

事務 長

論

【転出者】

論

養護 教諭

教諭(再任用)

主 査

【期間満了者】

教諭(再任用)

論

【転入者】

論

養護 教諭

主 務 事

【再任用】

教諭(再任用)

論

【期限付・臨時的】

任期付任用講師

任期付任用教諭

臨時的任用実習教員

任期付任用主事

佐々木みどり

鬼頭 昌宏(国語)

神崎 風香(数学)

滝沢 酒蔵(英語)

多門 純子(国語)

安田 奈未(国語)

竹下 和希(数学)

加藤 大志(保体)

三好 充代(国語)

小菅 恭子(理科)

加藤 晃樹(理科)

柴田 英明

竹内 功男(国語)

小堂真貴生(地歴)

奥村 順子

白石 飛鳥

今村 幼子

加藤真太郎(国語)

富田めぐみ(国語)

宮坂 直樹(数学)

渡邊 正孝(数学)

内藤竜太郎(保体)

菱沼 花梨(英語)

愛知県立松蔭高等学校(再任用)へ

兵庫県尼崎市立尼崎双星高等学校へ

愛知県立杏和高等学校へ

愛知県立一宮商業高等学校へ

愛知県立南陽高等学校へ

愛知県立瑞陵高等学校へ

愛知県立中村高等学校へ

愛知県立惟信高等学校へ

愛知県立瑞陵高等学校(事務長)へ

愛知県立海翔高等学校(非常勤)へ

愛知県立昭和高等学校(非常勤)へ

愛知県立松蔭高等学校(非常勤)へ

退職

退職

愛知県立松蔭高等学校(非常勤)へ

愛知県教育委員会高等学校教育課から

愛知県立惟信高等学校から

愛知県立熱田高等学校から

愛知県立熱田高等学校から

愛知県立西春高等学校から

愛知県立猿投農林高等学校から

愛知県立千種高等学校から

愛知県立中川商業高等学校から

まつかけ会事務局

改姓 住所変更 等のご連絡時に、送付された住所・氏名の
上部に記載されている

例 (昭48高F) (平12高3) を必ずご記入ください。

また、同級生・同窓生で、町名 地番が変更になり、届かなくな
ったという方がいらっしゃいましたら、メール、FAX、
郵便 等でご連絡頂こうお伝えください。

(宛先不明との理由で大量に戻ってきました。)

同窓会(まつかけ会)HP <http://matsukagekai.main.jp>

事務局／同窓会会長

星野行正

〒453-0812

名古屋市中村区西米野町 1-76-5

FAX(052)482-8600

学校に事務局は有りませんので連絡は郵送か

FAX にて会長宅へお願いします。

『まつかけ会年会費』振込みご協力のお願い

『まつかけ会』会報は皆様方の年会費で発行されています。

何卒御協力をお願い申し上げます。

- ・まつかけ会年会費 3,000円
- ・住所変更等の受付はコンビニではできませんので郵便局をご利用ください。
- ・コンビニでの振込期限は2021年2月末までです。郵便銀行は期限は有りません。



000-0000

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇

※ (昭37高B)

「まつかけ会」事務局 星野 行正

〒453-0812

名古屋市中村区西米野町1-76-5

松蔭 太郎 様

FAX 052-482-8600

004846#

004846



の部分

必ずご記入ください!!

同窓会幹事 <松蔭72回>

1組

藤田 音歌
山田 明季

2組

◎伊藤 修斗
岩井 夢乃

3組

加藤 翔輝
○村川 茅沙

4組

岡田 蘭丸
中村あゆみ

5組

春田晋乃介
山岸 羽凱

6組

小野 尊
高丘 颯俊

7組

石津さと子
小野 真加

8組

真部 夏帆
牧山 芽依

9組

安藤 謙汰
柘植 律輝

(敬称略・◎学年代表、○は副代表)

住所変更届

氏名
(旧姓)

卒業年度

昭和
平成
令和 年

普通
商業

組

新住所

電話 () -

旧住所

以上をご記入の上、同窓会事務局に郵送。

郵送先

愛知縣中川中學校 同窓会「まつかけ会」
愛知県立松蔭高等学校
会長宅 星野行正
〒453-0812 名古屋市中村区西米野町 1-76-5

FAX (052) 482-8600

提出日 月 日